

4-3 アプリケーションソフトウェア

「アプリケーション」 = 「応用」

↓

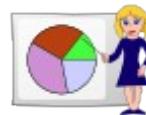
それぞれの利用目的のために開発されたプログラムである(個別性)

種類(例)

それぞれのアプリケーションについて、教科書で確認してみましょう

1) 汎用アプリケーションソフトウェア

- ・ワープロソフト
- ・表計算ソフト
- ・データベースソフト
- ・プレゼンテーションソフト



←勉強しておいてください

2) グラフィック、マルチメディアソフトウェア

- ・デジタル情報(画像、音声、動画)の加工・編集
- ・デジタル情報の再生



→ 「ペイント」系と「ドロー」系 の違い

→ 関連) 前期の授業で「ビットマップ」と「アウトライン」フォントの話をしました

3) 業務用(ビジネス)アプリケーションソフトウェア

- ・会計
- ・給与計算
- ・販売管理



→ **ERP** (Enterprise Resource Planning)パッケージ

→ **CAD** ソフト

CAD : Computer-Aided Design

コンピュータを利用して、建築や電子回路設計を行なうこと

→ **DTP** ソフト

DTP : DeskTop Publishing

様々な分類がある。細かく覚える必要はないが、ソフトウェアの目的についてや「何をするソフトウェアなのかな？」位は知っておきたい。

演習) 身の回りのパソコンで利用可能な(インストールされている)アプリケーションを分類してみましょう

関連) 近年では SaaS, ASP などのサービスが利用される場合が増えてきている

→ クラウドサービス、アプリの実体がどこにあるのか？